2021 年度年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　２０２２年４月１４日
● 事　業　名　：　つながりで作る多文化多様性が輝く地域プロジェクト
● 資金分配団体　：　一般財団法人中部圏地域創造ファンド
● 実 行 団 体　：　特定非営利活動法人トルシーダ
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☐有　☑無

① 実績値　（実績値の対象は、基本は 2021 年 9 月～2022 年 3 月末。中間報告時に 9 月を入れている場合は 10 月からでも結構です）

アウトプット（短期的な結果）	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況 （実施した活動内容も5W1H や、参加人数等もわかるように書いてください＝別紙一覧でも可）	進捗状況＊
1　チームを構成する団体が、外国人住民の人材情報と、コミュニティの現状把握を共有する。	①インタビューによって発掘した外国人人材情報 ②チーム会議の回数″	①80人 ②　1回／月	①　2022 年 8 月 ②　2020 年 12 月	①トルシーダの日本語教室の活動と連携させたいと考えているが、調整ができていない。また、住民同士の関係の複雑さや課題があることが分かったので、情報管理や活用方法を明確にしてから行う必要がある。情報管理について、チーム内で話し合う必要がある。以上の課題があり、チーム内に人材マップについて打診してきたが、こちらからの提案に留まり議論に至っていない。「何のために」の共有と、地域での情報管理の難しさが分かったので、当団体としてどうするのかということで進めていきたい。 ②フードパントリー(卵の配布状況)や、子育てサロンについてチーム会議で報告。 フードパントリーの参加者は毎回 40 人前後	3 ①人材のコアになるインタビュー対象者は見えている。そこからのつながりも期待できる。 ②フードパントリーの場所を変更する必要が生じ、県営集会所から UR の駐車場で卵の配布を行うことになった。結果的に UR の役員さんたちや地域活動グループのネットワークができた。

2　アートプロジェクトを通して日本人住民と外国人住民とが交流する	①参加人数 ②実施回数　5回／年 〃	①200名（参加延人数） ①　5回／年	2021年3月	①コロナにより団地内活動で場所を探すことが難しくなった。屋外で活動するための検討を行った。屋外活動のための可動式屋台を作成することになった。 今後は交流の場として、アートプロジェクトだけではなく、読み聞かせや紙芝居、工作教室等、団地住人が講師として関われることや、手伝ってもらえることを企画していく。 また、高齢者の会等と協働して、団地内の緑化活動を計画している。	2 ①GWには屋台の屋根部分に絵を描くアートワークショップを計画している。
3　子育てサロンに団地の日本人住民と外国人住民が参加する	①参加人数、 ②支援者の人数 ③実施回数	①20人 ①　30人 ②　3回／年	2021年3月	ブラジル人住民が主体となった子育てサロンの組織化に問題が生じ、運営について検討しながらイベントを行った。 ネイル教室 ①25人 ②10人 親子ズンバ教室 ①30人 ②8人 クリスマス会 ①32人 ②5人 3月には、子育てサロン運営メンバーで1年の振り返りを行い、課題の共有と今後の運営について検討した。託児や情報管理、運営体制について率直な話し合いができ、子育てサロンを「組織」としてやっていきたいという意思確認ができ、そのためのルール化の必要性について理解が得られた。 ①7人 ②8人	1 ②日本人住民の支援者を探すことは現実的には難しい。（子育て世代がいない） 自治区の中で活動する子育てサロンの位置づけに見通しが必要だが、保見団地の中でも異なる自治区住民で構成された組織であり、子ども会に替わる「地縁組織」としてではなく「活動団体」として組織化していうことが現実的だと思われる。

				子ども食堂の実施 ①32人 ②10人 ③2回 子育てサロンの運営メンバーを増やすことを目的に、外国人住民が主体となる子ども食堂を実施した。 メニューの検討、予算立て、チラシ作成と周知、買いだし等責任を持って関わってもらえた。 新規の参加者もいて、いろいろな人の関わりがあることで、活動が広がることを実感した。	児童相談所と福祉課が日本人家庭に対し、子ども食堂の参加を促しているが、今のところ参加には至っていない。

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

②事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☐変更なし　☑短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値 アートプロジェクトの活動について、アート活動に限定せず、日常的に実施できる読みきかせや工作、ポルトガル語教室などの活動で交流を行う。
3. 活動に関する報告
①子育てサロンは、ブラジル人住民からの要望を形にすることで、プロセスを共有し組織化していきたい。楽しんで交流する内容が多かったが、３月に実施した振り返りでは、「発達障害」や「言葉の問題」について勉強したいとの声もあり、子育ての悩みや課題について話しができたり情報を得られたりする場にしていきたい。 ②トヨタ自動車ボランティアセンターより食料の寄付があり、フードパントリーの展開として１２月に相談会を行った。プロジェクトの事業としての実施は出来なかったが、豊田市の福祉課、国際まちづくり推進課、ボランティア団体の協力を仰ぎ、相談者を福祉の支援につなげることができた。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
屋外活動を増やす、屋内で行うときは広い部屋がある交流館を使う。子ども食堂では、手洗いとアルコール消毒、換気を徹底する。参加人数を制限する。

③広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　　☐広報制作物に表示している ☑報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 2.広報制作物等 子育てサロン、子ども食堂のチラシ作成 3.報告書等 相談会アンケート 第５２回博報賞授賞式で活動紹介 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　　☐整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

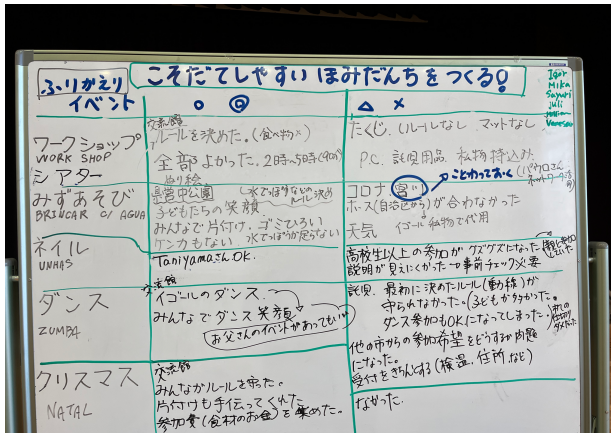
1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☐内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは１枚２MG 以下、3～4 枚程度）

子育てサロンネイル教室

子育てサロンダンス教室打ち合わせ



子育てサロン振り返りの板書

子ども食堂